

支所001	項目名	国府地域活性化推進事業費		新規事業
予算書項目	新市域特別振興費	ページ	167	所 属 名
年度	R5	国府町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】国府町総合支所地域振興課 0857-30-8652			
款 総務費	【11次総の施策体系】2403			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 合併後の国府地域の活性化を図ることを目的として策定された「新市域振興ビジョン」に基づき、“市民と総合支所との協働”を基本とした事業を実施することにより、国府地域の活性化と振興を図る。			
目 企画費	【事業の目的及び効果】 活気あふれる地域の実現に向かい、次世代へ引き継がれるよう地域住民と行政が連携しながら、一体となって地域振興に取り組み、安全に安心して暮らせる、住みたいまち・住んで良かったといわれるまち「万葉のふるさと 国府」を目指す。			
(単位:千円)	【事業の内容】 ①袋川清掃事業 ②花づくりと緑化推進事業 ③協働活動支援事業 ④地域観光資源活用推進事業			
前年度当初予算額	749	【事業の実績】 令和2年度 886千円 令和3年度 783千円 令和4年度 749千円		
本年度要求額	838			
総務部長段階査定額	838	【事業の内容】 ①袋川清掃事業 ②花づくりと緑化推進事業 ③協働活動支援事業 ④地域観光資源活用推進事業		
市長段階査定額	838	【事業の実績】 令和2年度 886千円 令和3年度 783千円 令和4年度 749千円		
区分	本年度予算額	【事業の内容】 ①袋川清掃事業 ②花づくりと緑化推進事業 ③協働活動支援事業 ④地域観光資源活用推進事業		
財源内訳		【事業の実績】 令和2年度 886千円 令和3年度 783千円 令和4年度 749千円		
国・県支出金	0	【事業の内容】 ①袋川清掃事業 ②花づくりと緑化推進事業 ③協働活動支援事業 ④地域観光資源活用推進事業		
地方債	0	【事業の実績】 令和2年度 886千円 令和3年度 783千円 令和4年度 749千円		
その他	0	【事業の内容】 ①袋川清掃事業 ②花づくりと緑化推進事業 ③協働活動支援事業 ④地域観光資源活用推進事業		
一般財源	838	【事業の実績】 令和2年度 886千円 令和3年度 783千円 令和4年度 749千円		
計	838	【事業の内容】 ①袋川清掃事業 ②花づくりと緑化推進事業 ③協働活動支援事業 ④地域観光資源活用推進事業		
備考欄				

支所002	項目名	国府フィッシングフェスタ補助金		新規事業
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	239	所 属 名
年度	R5	国府町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】国府町総合支所産業建設課 0857-30-8656			
款 商工費	【11次総の施策体系】2202			
項 商工費	【事業の経過及び背景】 「マス釣りフェスタ」は、平成4年度から殿ダム建設に伴う将来の湖水並びに周辺の河川を利用したイベントとして周辺住民の協力を得てスタートした。以来、市内外から多数の参加者を迎え、国府地域を代表する体験型観光イベントとして定着していた。しかし、平成29年11月に水産庁から示された「水産分野における産業管理外来種の管理指針」により、ニジマスを河川へ放流することができなくなり、代替魚種への変更を求められたため、令和元年度からニジマスを在来種のヤマメへ変更し、イベント名称を「フィッシングフェスタ」に改称して継続開催する。			
目 観光費	【事業の目的及び効果】 本事業は、豊かな自然と殿ダムの湖水を活用した地域が一体となるイベントを通して地域振興に資することを目的として実施するものである。			
(単位:千円)	【事業の内容】 主催：国府フィッシングフェスタ実行委員会 時期：令和5年5月28日(日)※予定 場所：袋川(国府町楠城地内) ・ヤマメ釣り大会 ・ヤマメ、マスのつかみどり(子ども対象) ・地域各種団体による特産品の販売等 ・殿ダム連携イベント			
前年度当初予算額	2,220	【事業の実績】 令和元年度 2,376千円(参加者約1,200人) 令和2年度 44千円(中止/新型コロナウイルス感染症拡大防止のため) 令和3年度 0千円(中止/新型コロナウイルス感染症拡大防止のため) 令和4年度 0千円(中止/新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)		
本年度要求額	2,220			
総務部長段階査定額	2,220	【事業の内容】 主催：国府フィッシングフェスタ実行委員会 時期：令和5年5月28日(日)※予定 場所：袋川(国府町楠城地内) ・ヤマメ釣り大会 ・ヤマメ、マスのつかみどり(子ども対象) ・地域各種団体による特産品の販売等 ・殿ダム連携イベント		
市長段階査定額	2,220	【事業の実績】 令和元年度 2,376千円(参加者約1,200人) 令和2年度 44千円(中止/新型コロナウイルス感染症拡大防止のため) 令和3年度 0千円(中止/新型コロナウイルス感染症拡大防止のため) 令和4年度 0千円(中止/新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)		
区分	本年度予算額	【事業の内容】 主催：国府フィッシングフェスタ実行委員会 時期：令和5年5月28日(日)※予定 場所：袋川(国府町楠城地内) ・ヤマメ釣り大会 ・ヤマメ、マスのつかみどり(子ども対象) ・地域各種団体による特産品の販売等 ・殿ダム連携イベント		
財源内訳		【事業の実績】 令和元年度 2,376千円(参加者約1,200人) 令和2年度 44千円(中止/新型コロナウイルス感染症拡大防止のため) 令和3年度 0千円(中止/新型コロナウイルス感染症拡大防止のため) 令和4年度 0千円(中止/新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)		
国・県支出金	0	【事業の内容】 主催：国府フィッシングフェスタ実行委員会 時期：令和5年5月28日(日)※予定 場所：袋川(国府町楠城地内) ・ヤマメ釣り大会 ・ヤマメ、マスのつかみどり(子ども対象) ・地域各種団体による特産品の販売等 ・殿ダム連携イベント		
地方債	0	【事業の実績】 令和元年度 2,376千円(参加者約1,200人) 令和2年度 44千円(中止/新型コロナウイルス感染症拡大防止のため) 令和3年度 0千円(中止/新型コロナウイルス感染症拡大防止のため) 令和4年度 0千円(中止/新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)		
その他	209	【事業の内容】 主催：国府フィッシングフェスタ実行委員会 時期：令和5年5月28日(日)※予定 場所：袋川(国府町楠城地内) ・ヤマメ釣り大会 ・ヤマメ、マスのつかみどり(子ども対象) ・地域各種団体による特産品の販売等 ・殿ダム連携イベント		
一般財源	2,011	【事業の実績】 令和元年度 2,376千円(参加者約1,200人) 令和2年度 44千円(中止/新型コロナウイルス感染症拡大防止のため) 令和3年度 0千円(中止/新型コロナウイルス感染症拡大防止のため) 令和4年度 0千円(中止/新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)		
計	2,220	【事業の内容】 主催：国府フィッシングフェスタ実行委員会 時期：令和5年5月28日(日)※予定 場所：袋川(国府町楠城地内) ・ヤマメ釣り大会 ・ヤマメ、マスのつかみどり(子ども対象) ・地域各種団体による特産品の販売等 ・殿ダム連携イベント		
備考欄	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金			

支所003	項目名	万葉フェスティバル開催事業費	新規事業
-------	-----	----------------	------

予算書項目	文化振興費	ページ	277
-------	-------	-----	-----

年度	R5
----	----

所属名	国府町総合支所 地域振興課
-----	------------------

会計名	
一般会計	
款	教育費
項	社会教育費
目	文化振興費

(単位:千円)

前年度当初予算額	3,300
----------	-------

本年度要求額	3,600
--------	-------

総務部長段階査定額	3,600
-----------	-------

市長段階査定額	3,600
---------	-------

区分	本年度予算額
財源内訳	
国・県支出金	660
地方債	0
その他	0
一般財源	2,940
計	3,600

備考欄	
-----	--

事業の概要

【問合せ先】国府町総合支所地域振興課 0857-30-8652
【11次総の施策体系】2302

【事業の経過及び背景】

国府地域では、万葉集を編さんした大伴家持が万葉集最後を飾る歌を詠んだ地であることにちなみ「万葉のふるさと」としてまちづくりをすすめてきた。「大伴家持大賞短歌募集事業」は、因幡万葉歴史館開館の平成6年から始まり、短歌愛好家の間では全国的に周知されることとなった。平成21年の万葉集終焉から1250年を記念した「全国万葉フェスティバルin鳥取」を契機に、翌22年からは従来の「大伴家持大賞短歌募集事業」と「全国万葉フェスティバルin鳥取」の一部事業を統合し、さらに本市が重要な万葉故地であること、万葉のふるさと鳥取市を広く情報発信するため「万葉フェスティバルin鳥取」として実施している。令和6年度に大伴家持大賞が30周年記念を迎えることから、1年前の令和5年度において記念事業（フォーラム、記念集等）検討委員会を発足し、事業内容を検討する。

【事業の目的及び効果】

万葉のふるさと鳥取市を広く情報発信することを目的としており、事業の知名度も向上し、全国から多くの短歌が寄せられている。

【事業の内容】

共催：新日本海新聞社
時期：令和5年10月15日（日）※予定
場所：国府町コミュニティセンター
内容：短歌募集を行い、大伴家持大賞として選考、審査し表彰式を行う。基調講演及び小中高校生を対象とした短歌講座の開催

【事業の実績】

令和2年度 3,400千円 応募数4,508首（一般1,881首、児童生徒の部2,627首）
令和3年度 3,300千円 応募数4,487首（一般2,024首、児童生徒の部2,463首）
令和4年度 3,300千円 応募数4,237首（一般1,841首、児童生徒の部2,396首）

支所004	項目名	こくふまつり開催費	新規事業
-------	-----	-----------	------

予算書項目	市民音楽祭開催費	ページ	277
-------	----------	-----	-----

年度	R5
----	----

所属名	国府町総合支所 地域振興課
-----	------------------

会計名	
一般会計	
款	教育費
項	社会教育費
目	文化振興費

(単位:千円)

前年度当初予算額	1,700
----------	-------

本年度要求額	1,700
--------	-------

総務部長段階査定額	1,700
-----------	-------

市長段階査定額	1,700
---------	-------

区分	本年度予算額
財源内訳	
国・県支出金	340
地方債	0
その他	0
一般財源	1,360
計	1,700

備考欄	
-----	--

事業の概要

【問合せ先】国府町総合支所地域振興課 0857-30-8652
【11次総の施策体系】2302

【事業の経過及び背景】

国府町では昭和44年から「国府町文化祭」として、地域の功労者の表彰や著名人の講演会、作品展示等の多彩な内容のイベントを開催してきた。その後、わかとり国体を契機に名称を「万葉のふる里こくふまつり 国府町文化祭」とし、更に平成16年の合併を経て、「万葉のふる里こくふまつり」とし、開催している。

【事業の目的及び効果】

国府地域に伝わる文化を中心とした活動の成果を発表する機会を提供することにより、地域の交流及び文化活動の活性化を図るとともに国府地域の個性豊かな文化を育てる。

【事業の内容】

主催：万葉のふる里こくふまつり実行委員会
時期：令和5年11月3日（金）（文化の日）※予定
場所：国府町コミュニティセンター周辺
内容：オープニングセレモニー、芸能発表会、映画上映会、こどもまつり、地域の特産物バザー

【事業の実績】

令和元年度 1,750千円
令和2年度 0千円（中止／新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）
令和3年度 409千円（縮小開催／新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）
令和4年度 465千円（縮小開催／新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）

支所005	項目名	鳥取砂丘らっきょう花マラソン開催費		新規事業
予算書項目	鳥取砂丘らっきょう花マラソン開催費	ページ	287	所属名
年度	R5	福部町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 福部町総合支所地域振興課 0857-30-8662			
款 教育費	【1次総の施策体系】 1303、2403			
項 保健体育費	【事業の経過及び背景】			
目 体育振興費	本大会は、令和5年度で37回を迎え、山陰海岸国立公園鳥取大砂丘と全国有数の生産を誇る鳥取砂丘らっきょうを全国にPRする目的で企画している。平成28年度より運営を実行委員会形式とした。			
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】			
前年度当初予算額	3,216	本市の花であるらっきょうの花が咲く中、さわやかな汗を流し、体づくりにも励んでもらうとともに、山陰海岸ジオパークや「鳥取砂丘らっきょう」「ふくべ砂丘らっきょう」の素晴らしさをさらに発信していく場とする。		
本年度要求額	3,216	【事業の内容】		
総務部長段階査定額	3,216	らっきょうの花が咲く10月の最終日曜日(予定)にマラソン大会を開催する。		
市長段階査定額	3,216	【事業の実績】		
区分	本年度予算額	令和元年度 3,216千円 参加者1,421人		
国・県支出金	0	令和2年度 0千円 (中止/新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)		
地方債	0	令和3年度 0千円 (中止/新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)		
その他	125	令和4年度 0千円 (中止/新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)		
一般財源	3,091	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金		
計	3,216	【その他財源の内訳】		
		分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	125	
		贈収入	0	
		その他	0	
備考欄				

支所006	項目名	らっきょう生産振興大会助成事業費		新規事業
予算書項目	地域特産物振興対策事業費	ページ	229	所属名
年度	R5	福部町総合支所 産業建設課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 福部町総合支所産業建設課 0857-30-8666			
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104			
項 農業費	【事業の経過及び背景】			
目 農業振興費	平成4年度から毎年開催されている。また、「鳥取砂丘らっきょう」「ふくべ砂丘らっきょう」が、平成28年3月農林水産省から地理的表示保護制度(GIマーク)に登録された。GIマーク登録は、生産者の自信と生産基盤の強化につながっている。			
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】			
前年度当初予算額	171	らっきょう生産に一層の意欲向上を図り、さらなるブランド化の定着を目指す。		
本年度要求額	216	【事業の内容】		
総務部長段階査定額	171	らっきょう生産振興大会の補助(補助率:1/2)		
市長段階査定額	171	【事業の実績】		
区分	本年度予算額	令和元年度 171千円(令和元年10月28日開催・120名参加)		
国・県支出金	0	令和2年度 0千円(中止/新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)		
地方債	0	令和3年度 0千円(中止/新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)		
その他	0	令和4年度 0千円(中止/新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)		
一般財源	171	【その他財源の内訳】		
計	171	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
備考欄				

支所007	項目名	地域おこし協力隊事業費	新規事業
予算書項目	新市域特別振興費	ページ	167
年度	R5	所 属 名	河原町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】河原町総合支所地域振興課 0858-71-1722		
款 総務費	【1次総の施策体系】2403（実施計画関連事業）		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 人口の減少や高齢化が進行し、地域活動や経済活動が低迷している河原地域において、地域の活性化や定住促進を図るためには、さまざまなアイデアやスキルを有する地域外の有能な人材のサポートを必要としている。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 都市部の有能な人材を地域おこし協力隊員として委嘱することにより、「西郷工芸の郷」のさらなる発展、新たな地域資源の発掘や各地域の魅力の効果的な発信を行うことで、観光振興・文化振興・移住定住促進を進め、地域の活性化を図り、将来にわたって暮らしていけるまちづくりを目指すもの。		
(単位:千円)	【事業の内容】 ○おためし協力隊募集事業 募集経費111千円 体験費用75千円 ・工芸祭りははじめとしたイベントのサポート、民藝夏季学校の誘致、民泊事業など滞在型グリーンツーリズムの促進、様々なSNS等を活用した地域情報の発信などを通じて地域外からの誘客の増加を図る。 ・年々増加する空家を調査・発掘し、移住者の住居やシェアハウスなどに活用することにより、さらなる移住者や訪問者の受入態勢を整備する。 ・三滝溪谷や湯谷温泉、売沼神社をはじめ、多くの文化財などの観光資源を有機的に連携した観光戦略の立案、道の駅や河原城とも連携を深め、地区の魅力などを広く外部に情報発信する。		
前年度当初予算額	3,437	【事業の実績】 令和2年度 3,228千円 協力隊員1名配置 令和3年度 3,700千円 協力隊員1名配置 令和4年度 3,400千円（見込）協力隊員1名配置	
本年度要求額	860		
総務部長段階査定額	186	【事業の内容】 ○おためし協力隊募集事業 募集経費111千円 体験費用75千円 ・工芸祭りははじめとしたイベントのサポート、民藝夏季学校の誘致、民泊事業など滞在型グリーンツーリズムの促進、様々なSNS等を活用した地域情報の発信などを通じて地域外からの誘客の増加を図る。 ・年々増加する空家を調査・発掘し、移住者の住居やシェアハウスなどに活用することにより、さらなる移住者や訪問者の受入態勢を整備する。 ・三滝溪谷や湯谷温泉、売沼神社をはじめ、多くの文化財などの観光資源を有機的に連携した観光戦略の立案、道の駅や河原城とも連携を深め、地区の魅力などを広く外部に情報発信する。	
市長段階査定額	186	【事業の実績】 令和2年度 3,228千円 協力隊員1名配置 令和3年度 3,700千円 協力隊員1名配置 令和4年度 3,400千円（見込）協力隊員1名配置	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 ○おためし協力隊募集事業 募集経費111千円 体験費用75千円 ・工芸祭りははじめとしたイベントのサポート、民藝夏季学校の誘致、民泊事業など滞在型グリーンツーリズムの促進、様々なSNS等を活用した地域情報の発信などを通じて地域外からの誘客の増加を図る。 ・年々増加する空家を調査・発掘し、移住者の住居やシェアハウスなどに活用することにより、さらなる移住者や訪問者の受入態勢を整備する。 ・三滝溪谷や湯谷温泉、売沼神社をはじめ、多くの文化財などの観光資源を有機的に連携した観光戦略の立案、道の駅や河原城とも連携を深め、地区の魅力などを広く外部に情報発信する。	
財源内訳		【事業の実績】 令和2年度 3,228千円 協力隊員1名配置 令和3年度 3,700千円 協力隊員1名配置 令和4年度 3,400千円（見込）協力隊員1名配置	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	186		
計	186		
備考欄			

支所008	項目名	河原城イベント企画事業費	新規事業
予算書項目	観光活動費	ページ	239
年度	R5	所 属 名	河原町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】河原町総合支所地域振興課 0858-71-1722		
款 商工費	【1次総の施策体系】2403		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 河原城は平成6年の設立当時から地域の拠点、シンボルとしての事業を展開してきた。地域に親しまれ、地域内外からの集客を図り、地域活性化の拠点となっている。		
目 観光費	【事業の目的及び効果】 観光客数や来場者数の減少が見込まれる中、行政、地域の各種団体と協働でイベントを実施することで、地域の活性化、まちおこしが図られる。また、鳥取自動車道の開通に伴い県内外からの集客が図られている。		
(単位:千円)	【事業の内容】 河原城でのイベント開催（主催：風土資産研究会） ①春の茶会 内容：大学生等によるお茶会 時期：令和5年5月 参加者：1,000人（見込） ②月見会 内容：バザー（ぜんざい、もちつきなど）、ステージイベント等 時期：令和5年9月 参加者：1,000人（見込）		
前年度当初予算額	1,432	【事業の実績】 [春の茶会] [月見会] 平成30年度 753人 800人 令和元年度 1,184人 中止（台風により） 令和2～4年度 中止／新型コロナウイルス感染拡大防止のため	
本年度要求額	1,432		
総務部長段階査定額	1,432	【事業の内容】 河原城でのイベント開催（主催：風土資産研究会） ①春の茶会 内容：大学生等によるお茶会 時期：令和5年5月 参加者：1,000人（見込） ②月見会 内容：バザー（ぜんざい、もちつきなど）、ステージイベント等 時期：令和5年9月 参加者：1,000人（見込）	
市長段階査定額	1,432	【事業の実績】 [春の茶会] [月見会] 平成30年度 753人 800人 令和元年度 1,184人 中止（台風により） 令和2～4年度 中止／新型コロナウイルス感染拡大防止のため	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 河原城でのイベント開催（主催：風土資産研究会） ①春の茶会 内容：大学生等によるお茶会 時期：令和5年5月 参加者：1,000人（見込） ②月見会 内容：バザー（ぜんざい、もちつきなど）、ステージイベント等 時期：令和5年9月 参加者：1,000人（見込）	
財源内訳		【事業の実績】 [春の茶会] [月見会] 平成30年度 753人 800人 令和元年度 1,184人 中止（台風により） 令和2～4年度 中止／新型コロナウイルス感染拡大防止のため	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,432		
計	1,432		
備考欄			

支所009	項目名	あゆ祭補助金	新規事業
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	239
年度	R5	所 属 名	河原町総合支所 産業建設課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】河原町総合支所産業建設課 0858-71-1726		
款 商工費	【11次総の施策体系】2202		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 河原町は古くから「あゆの町」として知られており、あゆの豊漁を願うと同時に、「あゆの町・かわはら」を広くPRするためにあゆ祭を開催しており、夏の風物詩として定着している。		
目 観光費	【事業の目的及び効果】 地域住民と行政が連携し、河原町の魅力アップと地域活性化と経済の活性化を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 第41回あゆ祭 主催:あゆ祭企画実行委員会 あゆのつかみ取り、鮎の塩焼き、子ども広場、子ども太鼓、女性太鼓、ステージショー、花火大会等		
前年度当初予算額	5,145	【事業の実績】 令和元年度 入込客数 25,000人 補助金 5,144千円 令和2年度 中止/新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 令和3年度 中止/新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 補助金 62千円(事前準備費用) 令和4年度 中止/新型コロナウイルス感染症拡大防止のため	
本年度要求額	5,145	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
総務部長段階査定額	5,145	その他財源の内訳	
市長段階査定額	5,145	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	0	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	694	寄付金	0
一般財源	4,451	繰入金	694
計	5,145	贈収入	0
		その他	0
備考欄			

支所010	項目名	地域おこし協力隊事業費	新規事業
予算書項目	新市域特別振興費	ページ	167
年度	R5	所 属 名	用瀬町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】用瀬町総合支所地域振興課 0858-71-1892		
款 総務費	【11次総の施策体系】2403		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 用瀬町地域においても人口減少と少子高齢化が進行し、地域の活性化や民俗文化の継承の危機が叫ばれている。毎年旧暦3月3日に行われる民俗文化「流しびな」は、伝統行事としてまた「流しびなの里もちがせ」の観光資源としての魅力を有しているが、担い手不足や高齢化により棧俵作り技術の継承等が困難になっており、また、観光資源としての特性を活かしたPR活動も十分にできているとはいえない現状である。		
目 企画費	積極的に「流しびな」を観光資源として、技術の承継や観光客誘致を持続可能な取組として推進する。		
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】 新市域振興ビジョンに「歴史・文化の継承」を掲げ、地域に伝わる伝統文化を資源として技術継承し、さらに観光資源としての活用資する。文化芸術活動による異世代交流や担い手育成等により、魅力ある地域活性化へ繋げる。		
前年度当初予算額	1,981	【事業の内容】 おためし地域おこし協力隊の募集PR及び受入 ・おためし地域おこし協力隊の募集PR(東京、大阪) ・用瀬町におけるおためし地域おこし協力隊の受入(2泊3日 3名)	
本年度要求額	889	【事業の実績】 令和2年度 3,576千円 協力隊員1名配置 令和3年度 3,810千円 協力隊員1名配置 令和4年度 1,441千円(見込) 協力隊員1名配置	
総務部長段階査定額	205	その他財源の内訳	
市長段階査定額	205	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	0	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	0	寄付金	0
一般財源	205	繰入金	0
計	205	贈収入	0
		その他	0
備考欄			

支所011	項目名	ジゲおこし事業費	新規事業
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	239
年度	R5	所属名 用瀬町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】用瀬町総合支所地域振興課 0858-71-1892		
款 商工費	【11次総の施策体系】2201（実施計画関連事業）		
項 商工費	【事業の経過及び背景】		
目 観光費	「用瀬町ジゲおこし事業」は、昭和63年度から流しびなの里もちがせの地域活性化を目的に、町内のボランティア委員で構成する用瀬町ジゲおこし実行委員会が、流しびなの里のイメージを内外に広めながら、地域の観光資源を活用して実施している。		
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	1,654	千代川や用瀬山系等を活用したイベントを支援することにより、地域の活性化や関係人口の創出・拡大を図る。	
本年度要求額	1,654	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	1,654	用瀬町ジゲおこし事業（4事業）	
市長段階査定額	1,654	①ふれあいフェスティバル（8月）	
区分	本年度予算額	②用瀬山系トレイル交流大会（春、秋）	
財源内訳		③川遊びフェスティバル（春、夏）	
国・県支出金	0	④用瀬宿横丁さんぼ市（11月）	
地方債	0	・主催 用瀬町ジゲおこし実行委員会	
その他	0	・場所 用瀬町内	
一般財源	1,654	【事業の実績】	
計	1,654	参加者数（全体） [令和2年度] 293人 [令和3年度] 367人 [令和4年度] 569人	
備考欄		補助金（全体） 1,629千円 400千円 504千円（見込）	

支所012	項目名	用瀬流しびな行事	新規事業
予算書項目	観光活動費	ページ	239
年度	R5	所属名 用瀬町総合支所 産業建設課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】用瀬町総合支所産業建設課 0858-71-1896		
款 商工費	【11次総の施策体系】2202		
項 商工費	【事業の経過及び背景】		
目 観光費	毎年旧暦3月3日に男女一対の紙雛を棧儀に乗せ、無病息災を願って千代川に流す情緒豊かな民俗文化行事。「用瀬のひな送り」は県無形民俗文化財に指定され、また、「用瀬の流しびな」は国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財（選択無形民俗文化財）」に選ばれている。		
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	914	流しびな行事に併せたイベント等を開催し、用瀬町の地域活性化と情報発信を図る。	
本年度要求額	2,303	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	2,303	もちがせ流しびな行事	
市長段階査定額	2,303	・主催 流しびな実行委員会	
区分	本年度予算額	・日時 令和5年4月22日（土）※旧暦3月3日	
財源内訳		・場所 千代川河川敷（流しびなの館対岸）	
国・県支出金	460	【事業の実績】	
地方債	0	令和元年度：入込客 6,000人 補助金 2,651千円	
その他	0	令和3年度：無観客開催 補助金 702千円	
一般財源	1,843	令和4年度：イベント開催なし 補助金 914千円（見込）	
計	2,303	※令和2年度は、旧暦の3月3日が該当しないため、行事実施なし	
備考欄		※令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、時間を指定しない形での行事開催や環境整備等を実施	

支所013	項目名	地域おこし協力隊事業費	新規事業 <input type="radio"/>
予算書項目	新市域特別振興費	ページ	167
年度	R5	所 属 名 佐治町総合支所 地域振興課	
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】佐治町総合支所地域振興課 0858-71-1912	
款	総務費	【1次総の施策体系】2403	
項	総務管理費	【事業の経費及び背景】 人口の減少や高齢化が進行し、生活に必要なサービスや機能を維持していくことが困難になっている佐治町地域において、地域の活性化や定住促進・関係人口の活用を図るためには、さまざまなアイデアやスキルを有する地域外の有能な人材のサポートを必要としている。	
目	企画費	【事業の目的及び効果】 都市部の有能な人材を地域おこし協力隊員として委嘱し、関係人口コーディネーターとして、外からの目線で地域を見ることにより、地域の人が気付かない魅力を拾い上げて地域活性化を図る。	
(単位:千円)		【事業の内容】 ①関係人口のデータベース作成及び仮称「佐治町応援団」の組織化。 ②関係人口（佐治町応援団）を活用した地域のコミュニティ活動及び地域の共同活動・イベント等への協力支援に関する企画・立案・実施。 ③地域の魅力をSNS等で発信。 委託先：特定非営利活動法人さじ未来（委託先にて隊員を雇用）	
前年度当初予算額	0	【事業の実績】 平成26年度から3年間 4名委嘱 期間満了後も3名が佐治町に定住	
本年度要求額	4,800		
総務部長段階査定額	3,302	【事業の内容】	
		①関係人口のデータベース作成及び仮称「佐治町応援団」の組織化。 ②関係人口（佐治町応援団）を活用した地域のコミュニティ活動及び地域の共同活動・イベント等への協力支援に関する企画・立案・実施。 ③地域の魅力をSNS等で発信。 委託先：特定非営利活動法人さじ未来（委託先にて隊員を雇用）	
市長段階査定額	3,302	【事業の実績】 平成26年度から3年間 4名委嘱 期間満了後も3名が佐治町に定住	
その他財源の内訳			
		分担金 0	
		負担金 0	
		使用料 0	
		手数料 0	
		財産収入 0	
		寄付金 0	
		繰入金 0	
		雑収入 0	
		その他 0	
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	3,302		
計	3,302		
備考欄			

支所014	項目名	ふるさとの味祭り事業費補助金	新規事業 <input type="radio"/>
予算書項目	むらづくり活性化推進事業費	ページ	227
年度	R5	所 属 名 佐治町総合支所 地域振興課	
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】佐治町総合支所地域振興課 0858-71-1912	
款	農林水産業費	【1次総の施策体系】2104	
項	農業費	【事業の経過及び背景】 「佐治ふるさと祭り」は昭和57年から佐治町地域の秋の収穫祭として開催しており、平成27年からは、公民館祭りと共同開催としている。また、令和元年度は、小中学校の学習発表会も合同で開催した。	
目	農業総務費	【事業の目的及び効果】 地域の産物や伝統文化を広くPRするとともに、佐治町地域内の芸術文化団体の活動の成果発表の場として位置付け生涯学習の推進を図り、地域の絆をより一層深め協働のまちづくりを進める。	
(単位:千円)		【事業の内容】 佐治町地域の秋の収穫祭として、地元の農産物や加工品の販売、郷土芸能の発表、公民館事業の展示等を中心とした「佐治ふるさと祭り」を毎年開催している。地域の団体が構成する実行委員会が主催。佐治町地域内外の多くの人の参加があり、佐治町地域の秋のイベントとして定着している。 ・主催：佐治ふるさと祭り実行委員会	
前年度当初予算額	1,350	【事業の実績】 令和元年度 入込客数 800人 補助金 1,350千円 令和2年度 中止／新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 令和3年度 中止／新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 令和4年度 中止／新型コロナウイルス感染症拡大防止のため	
本年度要求額	1,350	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
総務部長段階査定額	1,350		
		【事業の内容】	
市長段階査定額	1,350	佐治町地域の秋の収穫祭として、地元の農産物や加工品の販売、郷土芸能の発表、公民館事業の展示等を中心とした「佐治ふるさと祭り」を毎年開催している。地域の団体が構成する実行委員会が主催。佐治町地域内外の多くの人の参加があり、佐治町地域の秋のイベントとして定着している。 ・主催：佐治ふるさと祭り実行委員会	
その他財源の内訳		【事業の実績】	
		令和元年度 入込客数 800人 補助金 1,350千円 令和2年度 中止／新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 令和3年度 中止／新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 令和4年度 中止／新型コロナウイルス感染症拡大防止のため	
		※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
		分担金 0	
		負担金 0	
		使用料 0	
		手数料 0	
		財産収入 0	
		寄付金 0	
		繰入金 366	
		雑収入 0	
		その他 0	
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	366		
一般財源	984		
計	1,350		
備考欄			

支所015	項目名	芸術によるまちづくり推進事業費		新規事業
予算書項目	地域振興対策費	ページ	167	所属名
年度	R5	気高町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】気高町総合支所地域振興課 0857-30-8672			
款 総務費	【1次総の施策体系】2301			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 気高地域では、平成26年8月に「鳥取市新市域振興ビジョン」を策定し、「芸術のまちづくり」の取組を進めている。 令和4年度より「浜村温泉湯けむり映画塾実行委員会」が活動主体となり、映画塾やワークショップを企画・運営するとともに気高町を舞台とした映画の撮影を行い、地域の魅力の発信や活性化に貢献している。			
目 企画費	【事業の目的及び効果】 「芸術のまちづくり」を通して、地域の魅力発信、地域間交流、観光客や芸術家の誘致など、地域の活性化を図る。			
(単位:千円)	【事業の内容】 ・浜村温泉湯けむり映画塾の開催 ①ワークショップ ②作品撮影、上映会の開催 例年2月頃に開催する浜村温泉映画祭で作品を上映するほか、CATVで放送。			
前年度当初予算額	1,000	【事業の実績】 令和2年度作品 短編アニメーション作品「かげろう」 令和3年度作品 連続ミニドラマ「拝啓、砂の国より」(R1年度作品の続編) 令和4年度作品 気高町出身の作家田中古代子とその娘千鳥をモチーフとした作品「幻影～浜村天使殺人事件～」を制作		
本年度要求額	1,000			
総務部長段階査定額	1,000	【事業の内容】		
市長段階査定額	1,000	【事業の実績】		
区分	本年度予算額	【事業の内容】		
国・県支出金	0	【事業の実績】		
地方債	0	【事業の実績】		
その他	0	【事業の実績】		
一般財源	1,000	【事業の実績】		
計	1,000	【事業の実績】		
備考欄				

支所016	項目名	地域おこし協力隊事業費		新規事業
予算書項目	新市域特別振興費	ページ	167	所属名
年度	R5	気高町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】気高町総合支所地域振興課 0857-30-8672			
款 総務費	【1次総の施策体系】2403			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 気高地域においては人口減少、少子高齢化が進行しており、空き家・空き店舗など遊休不動産の増加や、温泉などの地域内資源の利活用が進まないなどの課題を抱えている。 効果的な遊休不動産や地域内資源の活用、PR活動を進め、交流人口の増加による地域活性化を推進する必要がある。			
目 企画費	【事業の目的及び効果】 観光資源である浜村温泉を活かしたまちづくりと活気のある街並みの再生を推進するため、温泉の利活用についての検討や空き家の調査・活用の支援を目的とした「地域おこし協力隊」を委嘱し、魅力ある地域の醸成を図り、さらなる移住・定住の促進や地域活性化へつなげる。			
(単位:千円)	【事業の内容】 浜村地区活性化委員会や、きらり☆浜村まちづくり協議会等関係団体と連携して、まちづくり実施計画の優先テーマである ○住民がつながるまち ○空き家の活用と美しい街並みのまち・気軽に商いができるまち ○みんなが気軽に温泉に入れるまち に関する事業の調査研究・企画立案・事業提案のほか、ホームページ、SNS等を活用した浜村地区の行事・名所などのPR・情報発信、その他浜村地区の活性化につながる活動を行う。			
前年度当初予算額	0	【事業の実績】 令和3年度 おためし地域おこし協力隊(1名) 令和4年度 地域おこし協力隊の配置(令和5年1月から)		
本年度要求額	3,680			
総務部長段階査定額	3,678	【事業の内容】		
市長段階査定額	3,678	【事業の実績】		
区分	本年度予算額	【事業の内容】		
国・県支出金	0	【事業の実績】		
地方債	0	【事業の実績】		
その他	0	【事業の実績】		
一般財源	3,678	【事業の実績】		
計	3,678	【事業の実績】		
備考欄				

支所017	項目名	貝がら節まつり補助金		新規事業
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	239	所 属 名
年度	R5	気高町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】気高町総合支所地域振興課 0857-30-8672			
款 商工費	【11次総の施策体系】2202			
項 商工費	【事業の経過及び背景】			
目 観光費	貝がら節まつりは気高地域を代表する夏祭りとして定着しており、貝がら節踊りや民謡貝がら節のふるさとを広くPRするとともに、郷土芸能の伝承や交流人口の増加に寄与してきた。			
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】			
前年度当初予算額	3,977	山陰海岸ジオパークのエリア拡大を契機に貝がら節まつりを地域内外に発信し、誘客を図るとともに地域住民の一体感の醸成、郷土芸能の伝承など地域の活性化に寄与する。		
本年度要求額	3,977	【事業の内容】		
総務部長段階査定額	3,977	貝がら節総踊り、花火大会、屋台村、芸能ステージ、船屋台パレードなど		
市長段階査定額	3,977	【事業の実績】		
区分	本年度予算額	令和2年度 中止／新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 補助金0千円		
財源内訳		令和3年度 中止／新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 補助金0千円		
国・県支出金	0	令和4年度 中止／新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 補助金14千円		
地方債	0	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金		
その他	571			
一般財源	3,406			
計	3,977			
備考欄				

支所018	項目名	地域おこし協力隊事業費		新規事業	○
予算書項目	新市域特別振興費	ページ	167	所 属 名	
年度	R5	鹿野町総合支所 地域振興課			
会計名	事業の概要				
一般会計	【問合せ先】鹿野町総合支所地域振興課 0857-30-8682				
款 総務費	【11次総の施策体系】2403				
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】				
目 企画費	鹿野町では空き地・空き家・耕作放棄地の課題解決に取り組んでいるが、移住希望者等のニーズがあり空き家も増加しているにも関わらず、空き家の確保が十分に進んでおらず応えきれていない。				
(単位:千円)	また河内地区では耕作放棄地対策として鹿野町河内果樹の里山プロジェクトを推進している。現在約4.5haに計850本の果樹を植え、大学生等の協力も得て、都市との交流、果樹を利用した商品化に取り組んでいるが、後継者育成・商品開発・販売ネットワーク構築についてはまだ十分に組み立てていない。				
前年度当初予算額	0	【事業の目的及び効果】			
本年度要求額	5,461	鹿野町の空き地・空き家・耕作放棄地の課題解決・資源化に、地域おこし協力隊の新たな知恵と行動を加え地域の活性化に繋げる。			
総務部長段階査定額	3,302	【事業の内容】			
市長段階査定額	3,302	鹿野地域に配置する地域おこし協力隊員が柔軟に活動できる体制を整備するため、隊員を特定非営利活動法人いんしゅ鹿野まちづくり協議会に配置するとともに、同法人が取り組んでいる地域活性化の取組をより強化する。			
区分	本年度予算額	①空き地・空き家問題の課題解決			
財源内訳		②耕作放棄地対策			
国・県支出金	0	委託先：特定非営利活動法人いんしゅ鹿野まちづくり協議会			
地方債	0				
その他	0				
一般財源	3,302				
計	3,302				
備考欄					

支所019	項目名	わったいな祭事業費	新規事業
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	239
年度	R5	所 属 名	鹿野町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】鹿野町総合支所地域振興課 0857-30-8682		
款 商工費	【11次総の施策体系】2201		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 平成12年度から行政が主体となって実施してきた「鹿野町わったいな祭」を令和4年度から地域の活性化を目指し、民間が主体となって企画運営する補助事業として実施。		
目 観光費	【事業の目的及び効果】 鹿野地域のにぎわい創出と交流人口の増を目的に、住民の地域づくりの意識向上と地域経済の活性化に寄与している。		
(単位:千円)	【事業の内容】 地域住民団体との共催によるイベントを「わったいな祭」の一環として開催、城下町の空家利用店舗、特産品販売、文化団体の作品展示など地元(じげ)のひと・ものを集める取組を実施する。今年度から旧鹿野小学校敷地内の新施設建設を見据え、城下町の空き家利用店舗の出店を鳥の劇場施設に拡大し、舞台芸術を核とした賑わいづくりに向けた事業を実施する。 ・城下町並みPR事業:週末だけのまちの店(9月の土日) ・農産物・特産物販売促進事業:鹿野ええもん市(5月、10月) ・河内果樹の里山まつり(10月) ・芸能発表、作品展示(9月~10月) ・来場見込:5,000人		
前年度当初予算額	1,939	【事業の実績】 令和2年度 中止/新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 事業費 854千円 来場者 1,564人 事業費 1,075千円 令和3年度 来場者 約3,000人 事業費 1,939千円(見込) 令和4年度	
本年度要求額	1,939		
総務部長段階査定額	1,939	【事業の内容】 地域住民団体との共催によるイベントを「わったいな祭」の一環として開催、城下町の空家利用店舗、特産品販売、文化団体の作品展示など地元(じげ)のひと・ものを集める取組を実施する。今年度から旧鹿野小学校敷地内の新施設建設を見据え、城下町の空き家利用店舗の出店を鳥の劇場施設に拡大し、舞台芸術を核とした賑わいづくりに向けた事業を実施する。 ・城下町並みPR事業:週末だけのまちの店(9月の土日) ・農産物・特産物販売促進事業:鹿野ええもん市(5月、10月) ・河内果樹の里山まつり(10月) ・芸能発表、作品展示(9月~10月) ・来場見込:5,000人	
市長段階査定額	1,939	【事業の実績】 令和2年度 中止/新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 事業費 854千円 来場者 1,564人 事業費 1,075千円 令和3年度 来場者 約3,000人 事業費 1,939千円(見込) 令和4年度	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 地域住民団体との共催によるイベントを「わったいな祭」の一環として開催、城下町の空家利用店舗、特産品販売、文化団体の作品展示など地元(じげ)のひと・ものを集める取組を実施する。今年度から旧鹿野小学校敷地内の新施設建設を見据え、城下町の空き家利用店舗の出店を鳥の劇場施設に拡大し、舞台芸術を核とした賑わいづくりに向けた事業を実施する。 ・城下町並みPR事業:週末だけのまちの店(9月の土日) ・農産物・特産物販売促進事業:鹿野ええもん市(5月、10月) ・河内果樹の里山まつり(10月) ・芸能発表、作品展示(9月~10月) ・来場見込:5,000人	
財源内訳		【事業の実績】 令和2年度 中止/新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 事業費 854千円 来場者 1,564人 事業費 1,075千円 令和3年度 来場者 約3,000人 事業費 1,939千円(見込) 令和4年度	
国・県支出金	969	【事業の内容】 地域住民団体との共催によるイベントを「わったいな祭」の一環として開催、城下町の空家利用店舗、特産品販売、文化団体の作品展示など地元(じげ)のひと・ものを集める取組を実施する。今年度から旧鹿野小学校敷地内の新施設建設を見据え、城下町の空き家利用店舗の出店を鳥の劇場施設に拡大し、舞台芸術を核とした賑わいづくりに向けた事業を実施する。 ・城下町並みPR事業:週末だけのまちの店(9月の土日) ・農産物・特産物販売促進事業:鹿野ええもん市(5月、10月) ・河内果樹の里山まつり(10月) ・芸能発表、作品展示(9月~10月) ・来場見込:5,000人	
地方債	0	【事業の実績】 令和2年度 中止/新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 事業費 854千円 来場者 1,564人 事業費 1,075千円 令和3年度 来場者 約3,000人 事業費 1,939千円(見込) 令和4年度	
その他	0	【事業の内容】 地域住民団体との共催によるイベントを「わったいな祭」の一環として開催、城下町の空家利用店舗、特産品販売、文化団体の作品展示など地元(じげ)のひと・ものを集める取組を実施する。今年度から旧鹿野小学校敷地内の新施設建設を見据え、城下町の空き家利用店舗の出店を鳥の劇場施設に拡大し、舞台芸術を核とした賑わいづくりに向けた事業を実施する。 ・城下町並みPR事業:週末だけのまちの店(9月の土日) ・農産物・特産物販売促進事業:鹿野ええもん市(5月、10月) ・河内果樹の里山まつり(10月) ・芸能発表、作品展示(9月~10月) ・来場見込:5,000人	
一般財源	970	【事業の実績】 令和2年度 中止/新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 事業費 854千円 来場者 1,564人 事業費 1,075千円 令和3年度 来場者 約3,000人 事業費 1,939千円(見込) 令和4年度	
計	1,939	【事業の内容】 地域住民団体との共催によるイベントを「わったいな祭」の一環として開催、城下町の空家利用店舗、特産品販売、文化団体の作品展示など地元(じげ)のひと・ものを集める取組を実施する。今年度から旧鹿野小学校敷地内の新施設建設を見据え、城下町の空き家利用店舗の出店を鳥の劇場施設に拡大し、舞台芸術を核とした賑わいづくりに向けた事業を実施する。 ・城下町並みPR事業:週末だけのまちの店(9月の土日) ・農産物・特産物販売促進事業:鹿野ええもん市(5月、10月) ・河内果樹の里山まつり(10月) ・芸能発表、作品展示(9月~10月) ・来場見込:5,000人	
備考欄			

支所020	項目名	町民音楽祭開催費	新規事業
予算書項目	市民音楽祭開催費	ページ	277
年度	R5	所 属 名	鹿野町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】鹿野町総合支所地域振興課 0857-30-8682		
款 教育費	【11次総の施策体系】2301		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 鹿野町民音楽祭実行委員会が主体として開催するふるさとミュージカルは、昭和62年にはじまり、多数住民が参画しながら継続して開催され、鹿野発の鳥取市民ミュージカルとして、またレベルの高い芸術活動として内外から認知されるようになった。 活動着手以来37周年を迎え、令和5年度は本格的な活動再開を目指し、次世代の育成・すそ野の拡大、各種地域団体と連携し地域活性化を促進、ウィズコロナ時代に即した公演のあり方の提案を柱にして活動のさらなる定着を目指す。		
目 文化振興費	【事業の目的及び効果】 地域の文化芸術振興・魅力ある地域づくり・多世代間交流の促進による住民コミュニティの醸成等を総合的に支援するため、継続した活動補助を行う。 ミュージカルの制作期間は約半年間に及び、この間展開される広い年齢層の市民交流は、良好な市民コミュニティづくりにおいても貢献している。 また、鳥の劇場との交流・演技指導により、担い手育成や情報発信の相乗効果が生まれる。		
(単位:千円)	【事業の内容】 第37回鹿野ふるさとミュージカル「さくら姫物語」予定制作上演事業 ・時期:令和5年8月 ・会場:鳥取市民会館 ・主催:鹿野町民音楽祭実行委員会		
前年度当初予算額	3,200	【事業の実績】 令和2年度 中止/新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 令和3年度 中止/新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 令和4年度 2,031千円 ※県総合芸術文化祭(とりアート)に参加。縮小再編し制作上演	
本年度要求額	3,200		
総務部長段階査定額	3,200	【事業の内容】 地域の文化芸術振興・魅力ある地域づくり・多世代間交流の促進による住民コミュニティの醸成等を総合的に支援するため、継続した活動補助を行う。 ミュージカルの制作期間は約半年間に及び、この間展開される広い年齢層の市民交流は、良好な市民コミュニティづくりにおいても貢献している。 また、鳥の劇場との交流・演技指導により、担い手育成や情報発信の相乗効果が生まれる。	
市長段階査定額	3,200	【事業の実績】 令和2年度 中止/新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 令和3年度 中止/新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 令和4年度 2,031千円 ※県総合芸術文化祭(とりアート)に参加。縮小再編し制作上演	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 地域の文化芸術振興・魅力ある地域づくり・多世代間交流の促進による住民コミュニティの醸成等を総合的に支援するため、継続した活動補助を行う。 ミュージカルの制作期間は約半年間に及び、この間展開される広い年齢層の市民交流は、良好な市民コミュニティづくりにおいても貢献している。 また、鳥の劇場との交流・演技指導により、担い手育成や情報発信の相乗効果が生まれる。	
財源内訳		【事業の実績】 令和2年度 中止/新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 令和3年度 中止/新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 令和4年度 2,031千円 ※県総合芸術文化祭(とりアート)に参加。縮小再編し制作上演	
国・県支出金	1,600	【事業の内容】 地域の文化芸術振興・魅力ある地域づくり・多世代間交流の促進による住民コミュニティの醸成等を総合的に支援するため、継続した活動補助を行う。 ミュージカルの制作期間は約半年間に及び、この間展開される広い年齢層の市民交流は、良好な市民コミュニティづくりにおいても貢献している。 また、鳥の劇場との交流・演技指導により、担い手育成や情報発信の相乗効果が生まれる。	
地方債	0	【事業の実績】 令和2年度 中止/新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 令和3年度 中止/新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 令和4年度 2,031千円 ※県総合芸術文化祭(とりアート)に参加。縮小再編し制作上演	
その他	0	【事業の内容】 地域の文化芸術振興・魅力ある地域づくり・多世代間交流の促進による住民コミュニティの醸成等を総合的に支援するため、継続した活動補助を行う。 ミュージカルの制作期間は約半年間に及び、この間展開される広い年齢層の市民交流は、良好な市民コミュニティづくりにおいても貢献している。 また、鳥の劇場との交流・演技指導により、担い手育成や情報発信の相乗効果が生まれる。	
一般財源	1,600	【事業の実績】 令和2年度 中止/新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 令和3年度 中止/新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 令和4年度 2,031千円 ※県総合芸術文化祭(とりアート)に参加。縮小再編し制作上演	
計	3,200	【事業の内容】 地域の文化芸術振興・魅力ある地域づくり・多世代間交流の促進による住民コミュニティの醸成等を総合的に支援するため、継続した活動補助を行う。 ミュージカルの制作期間は約半年間に及び、この間展開される広い年齢層の市民交流は、良好な市民コミュニティづくりにおいても貢献している。 また、鳥の劇場との交流・演技指導により、担い手育成や情報発信の相乗効果が生まれる。	
備考欄			

支所021	項目名	鹿野城跡公園管理費	新規事業
予算書項目	公園管理費	ページ	255
年度	R5	所 属 名	鹿野町総合支所 産業建設課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】鹿野町総合支所産業建設課 0857-30-8686		
款 土木費	【11次総の施策体系】2401		
項 都市計画費	【事業の経過及び背景】		
目 公園管理費	鹿野城跡は、鳥取市指定史跡に指定されており、戦国時代末期から栄えた鹿野城の城郭遺構を「市民の憩いの場」「観光レクリエーション」「歴史文化教育の場」として公園整備されている。山頂には天守跡があり、山麓の本丸・二ノ丸は鹿野学園として活用され、水をたたえる内堀・外堀・薬研堀、その周囲からなり、公園区域面積は約3.6haある。春には約500本の桜が咲き誇り、県内有数の夜桜の名所として多くの花見客が訪れている。さらに秋には約600本の紅葉の彩りを楽しむことができる。また、住民のボランティア活動が盛んで、自治会、まちづくり協議会、任意団体等による除草・清掃活動及び、お花見シーズンのポンボリ設置等が活発に行われている。		
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	3,681	鹿野城跡公園の維持管理業務を適正に行い、安全、安心な憩いの場を市民及び観光客へ提供する。	
本年度要求額	4,298	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	4,116	鹿野城跡公園管理業務 ・通常管理と併せて、木柵延命化事業を実施。	
市長段階査定額	4,116	【事業の実績】	
区分	本年度予算額	令和2年度 3,390千円 令和3年度 3,683千円 令和4年度 5,008千円(見込)	
国・県支出金	0	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
地方債	0		
その他	187		
一般財源	3,929		
計	4,116		
備考欄			

支所022	項目名	青谷地域活性化推進事業費	新規事業
予算書項目	新市域特別振興費	ページ	167
年度	R5	所 属 名	青谷町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】青谷町総合支所地域振興課 0857-30-8692		
款 総務費	【11次総の施策体系】2403		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】		
目 企画費	青谷地域は地域資源が豊富であり、自然や歴史文化などの魅力を次代に継承すべく、様々な活動に地域住民主体で取り組んでいく必要がある。そのため、個々のまちづくり団体等の活動を青谷地域全体の取組とするため、活動母体となる組織「青谷地域づくり連絡協議会」を中心として盛り上げていく。 また、青谷地域を代表する伝統工芸品「因州和紙」を市内外に発信するため、和紙工芸グループ制作の因州和紙工芸品を展示・紹介するPR事業を行う。		
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	1,187	青谷地域づくり連絡協議会が取り組む地域振興事業に対して補助をする。 また、和紙工芸グループの協力による因州和紙の作品展示を実施する。	
本年度要求額	1,187	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	1,187	青谷地域づくり連絡協議会事業 ①因州和紙活用活動 ②美化活動 ③鳴り砂保全活動 ④青谷上寺地遺跡学習活動 ⑤青谷町物産販売促進活動 ⑥青谷の魅力発掘活動 ⑦観光促進活動 ・因州和紙PR事業 和紙工芸グループ制作の因州和紙工芸品を展示・紹介	
市長段階査定額	1,187	【事業の実績】	
区分	本年度予算額	令和2年度 766千円 令和3年度 808千円 令和4年度 1,187千円(見込)	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,187		
計	1,187		
備考欄			

支所023	項目名	青谷上寺地遺跡地域利活用運営事業費		新規事業
予算書項目	新地域特別振興費	ページ	167	所属名
年度	R5	青谷町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】青谷町総合支所地域振興課 0857-30-8692			
款 総務費	【11次総の施策体系】2403			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 青谷上寺地遺跡は、全国、世界に誇る歴史的な発掘により、関係者のみならず歴史愛好家や一般観光客にも注目が高まっている。 青谷地域では、貴重な歴史遺産を活かした地域づくりを進めるべく、地元の小学校、中学校、並びに県立青谷高等学校の学習カリキュラムに歴史学習を積極的に取り入れ、一貫した歴史学の拠点としての魅力を高めていく取組を行っている。特に、青谷高等学校は、青谷上寺地遺跡の歴史資産を活用した新たなカリキュラムを創設し、1年次生から3年次生に至るまで、継続的に青谷上寺地遺跡を素材とした学習体制を整えるなど、近隣他県にない専門的な考古学を打ち出した学校の魅力づくりを行っている。			
目 企画費	【事業の目的及び効果】 青谷上寺地遺跡学習を履修するため、県外から入学した生徒の生活支援を行うことにより、将来の地元就労や地域貢献など、青谷上寺地遺跡を活用した地域の振興につなげていく。			
(単位:千円)	【事業の内容】 「弥生文化探究」を含めた青谷上寺地遺跡学習等を履修するため、県外から青谷高等学校へ入学した生徒に対して、本市内に下宿する場合に、生活費の一部を支援する。 ・青谷上寺地遺跡地域学習環境整備補助金 補助金額 10千円×12か月×3人			
前年度当初予算額	0	【財務の内訳】		
本年度要求額	360	分担金	0	財源内訳
総務部長段階査定額	360	負担金	0	国・県支出金
市長段階査定額	360	使用料	0	地方債
		手数料	0	その他
		財産収入	0	一般財源
		寄付金	0	計
		繰入金	0	
		贈収金	0	
		その他	0	
備考欄				

支所024	項目名	青谷地域にぎわい創出事業補助金		新規事業
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	239	所属名
年度	R5	青谷町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】青谷町総合支所地域振興課 0857-30-8692			
款 商工費	【11次総の施策体系】2403			
項 商工費	【事業の経過及び背景】 平成28年度から、因州和紙の産地強化とまちなかの賑わいを目的とした、定期的なイベント等に取り組んでいる。			
目 観光費	【事業の目的及び効果】 地域資源である因州和紙の魅力を発信する事業と青谷のまちなかに賑わいを取り戻す事業、さらに令和3年度から青谷上寺地遺跡利活用推進事業を加え、地域の魅力づくりと情報発信により地域の活性化を図る。			
(単位:千円)	【事業の内容】 ・青谷地域にぎわい創出実行委員会に対する補助 ①青谷因州和紙産地強化事業 因州和紙フェスタ&ひおき収穫祭 因州和紙PR事業として、道の駅西いなば楽里で和紙PRイベントを開催 ②青谷ようこそ市場（通称：「あおいち」）事業 あおいち年3回、あおいちギャラリー、あおいちイルミネーション ③青谷上寺地遺跡利活用推進事業 青谷かみじち活用事業、青谷かみじちスタンプラリー、史跡公園オープンに向けてまちのにぎわいづくりを考えるつどい			
前年度当初予算額	2,850	分担金	0	財務の内訳
本年度要求額	2,850	負担金	0	国・県支出金
総務部長段階査定額	2,850	使用料	0	地方債
市長段階査定額	2,850	手数料	0	その他
		財産収入	0	一般財源
		寄付金	0	計
		繰入金	844	
		贈収金	0	
		その他	0	
備考欄	【事業の実績】 令和2年度 565千円 令和3年度 888千円 令和4年度 2,100千円（見込） ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度から令和4年度は因州和紙フェスタ&ひおき収穫祭は中止、あおいちは年3回のうち2回を中止 ※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金			